

平成20年1月7日

# 落中便り



広島市立落合中学校  
校長 尾崎 等

皆様 新年明けましておめでとうございます！！

子の年・2008年を気持ち新たにスタートしよう！！

あらためて新年のごあいさつを申し上げます。本年も、本校教育に対しましてこれまで同様のご理解ご支援をいただきますよう、よろしく願いいたします。さて、十二支もふりだしの子<sup>ね</sup>に戻ってのあらたなスタートとなりましたが、あわただしい年の暮れから少しはのんびりとしたお正月が過ごせましたでしょうか。私を含め教職員一同、何とか本来の元気な落中、安心して学べる落中を目指して努力をしてきたつもりですが、節々での大きな行事や部活等では持てる力を十分発揮し、大きな感動を呼び起こしたり、満足のいく結果を引き出してこれたものの、授業を大切に考え集中して努力する姿勢や家庭に帰ってこつこつ積み重ねる姿勢。仲間や先生との係わり方。地域での過ごし方、マナーでは引き続き粘り強い指導が必要であると考えています。保護者の皆様は勿論、地域の方々におかれましても、従来と同様にあつい声援とご協力をお願いいたします。

さて、生徒の皆さん 年が明け、2008年がスタートしましたが、今年にかける決意・抱負はいかがですか？これまでも話してきましたが、人が成長していくときに、目標を持って過ごす場合とただ何気なく流れに任せて過ごすときの違いを多くの生徒は体験してきていると思います。例えば、朝練・6時間授業・委員会、係会の仕事・放課後の部活動・なかにはその後塾や習い事の人・家に帰っての自分の役割分担・宿題を含め学習のパターンを毎日リズムに乗ってこなしている生徒が約五分の一います。(目一杯ハードなモデルの例です)はたから見るとハードさだけが強調されていますが、昨年その何人かの生徒に声をかけると『きついけど習慣になってるから』とか『試合で次は絶対勝ちたいから』とか『みんなも頑張ってるから』等の声が返ってきました。中には土日も部活や試合が入って遊ぶ時間や宿題をする時間も厳しい時もあるようですが、『目標があるからなんともないです』とか『わずかの時間を大事に出来ます』という答えには驚きました。いい悪いは別にして、新しい年に入ったときを大きなきっかけにして、昨年までの自分をしっかり振り返り、**まず確実に出来る目標を持ってください。**455名の生徒一人一人が、昨年までとはひと味もふた味も違ったスタートを切ることが出来れば、さらに元気でパワーあふれる落中になると信じています。まずは、**後期後半を一日一日を大切に過ごして欲しい**と思います。三年生にとっては卒業まであと46日！進路決定に向けて全力で頑張り、みんなと過ごしてきた落中生活をこれまで以上に大切にしたいと思っています。

